



講師

一般社団法人 未来研究所臥龍 代表理事

かとり てるゆき

香取 照幸 先生



ご略歴

1956（昭和31年）生まれ・東京都出身
1980年東京大学法学部卒業

- 1980年 厚生省（現厚生労働省）入省
- 1982年 在フランスOECD（経済協力開発機構）事務局研究員
- 1990年 埼玉県生活福祉部老人福祉課長
- 1996年 厚生省高齢者介護対策本部事務局次長
- 2001年 内閣官房内閣参事官（小泉総理大臣官邸）
- 2002年 厚生労働省老健局振興課長
- 2005年 厚生労働省雇用均等・児童家庭局総務課長
- 2007年 厚生労働省参事官（社会保障担当）
- 2008年 内閣官房社会保障国民会議事務局参事官
同安心社会実現会議事務局参事官
- 2010年 厚生労働省政策統括官（社会保障担当）
内閣官房内閣審議官（社会保障・税一体改革担当）
- 2012年 厚生労働省年金局長
- 2015年 厚生労働省雇用均等・児童家庭局長
- 2016年 退官
- 2017年 アゼルバイジャン共和国駐箚日本国特命全権大使
- 2020年 上智大学総合人間科学部教授
- 2023年 兵庫県立大学大学院社会科学部研究科特任教授（現職）



直近のご活動

主な著書：

「介護保険制度史」（共著）
『教養としての社会保障』
『民主主義のための社会保障』
『社会保障論Ⅰ【基礎編】』
『高齢者福祉論【介護保険制度の理念・意義・課題】』
（いずれも東洋経済新報社）

- 日本医師会医療政策会議委員
（2016-2018・2022-2026）
- 東京都医師会在宅医療協議会
委員会委員・TMA近未来医療会議委員長
- 日本年金学会幹事
- 日本地域包括ケア学会評議員
- 日米医学医療交流財団理事
- 2021年11月より総理官邸「全世代型社会保障構築会議」構成員
- 2022年8月より厚生労働省「医薬品の迅速・安定供給実現に向けた総合対策に関する有識者検討会」委員
- 2023年10月より同「国民・患者に対するかかりつけ医機能をはじめとする医療情報の提供等に関する検討会」委員
- 2024年3月より同「新たな地域医療構想等に関する検討会」委員

一般社団法人 未来研究所臥龍

社会保障のみならず、社会保障に関わる経済政策や労働政策、地域政策についての実践的な調査、研究、研修、人材育成等を通じて、現場を支える人材の養成・確保、社会保障政策研究の基盤強化と研究者支援、そして政策担当者と研究者・現場とのネットワークを構築する手助けをし、そのことを通じて「次世代のためのより良い未来」に貢献したいと考え、そのための活動拠点として、「一般社団法人 未来研究所 臥龍（Wolong）」が設立されました。

臥龍では、次世代を担う若い人たち、医療や介護の現場、アカデミズム、国や地方自治体で活動している皆さんの研鑽と交流の場を提供しています。